

事務事業 No./名 称	■サービス部門 都整-38		管渠維持管理費					
	□支 援 部 門							
主管課	下水道河川課	関連課	作業センター、浄化センター、道水路管理課					
分野名	下水道・河川							
目標 (目標値)	汚水管渠施設の適切な維持管理を行い、機能維持を図る。							
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考			
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯				
	事業の対象者数	172,425人	171,528人	171,024人				
運営資源 状 況	決算値(千円)	58,792	71,589	65,882				
	(国・県)							
	(負担金等)							
	(一般財源)	58,792	71,589	65,882				
	人員配置数	1.4	1.1	1.1				
	人 件 費(千円)	11,274	9,665	9,665				
	協 働 の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	70,066	81,254	75,547				
	市民1人当 りの経費(円)	395	459	426				
	対象者1人 当りの経費(円)	406	474	442				
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名	鎌倉市	小田原市	厚木市	大和市	海老名市		
	管渠維持管理費(百万円)	240	130	194	114	129		
	処理人口(千人)	171.2	159.6	193.0	211.7	122.0		
	対象者一人当り(円)	1,402	815	1,005	538	1,057		
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)	
管渠浚渫延長	○	目標値	実数	実数	実数	実数	100%	
		実績値	31,019	31,278	31,278	30,289		
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退								

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)				⇒	方向性					A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		
管渠維持管理費	58,792千円	①効率性	☐	②妥当性	☐	③有効性	☐	④公平性	☐	⇒	☒ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要	汚水管渠等施設の維持修繕工事、管渠等浚渫委託を実施													
		①効率性	☐	②妥当性	☐	③有効性	☐	④公平性	☐	⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性	☐	②妥当性	☐	③有効性	☐	④公平性	☐	⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性	☐	②妥当性	☐	③有効性	☐	④公平性	☐	⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性	☐	②妥当性	☐	③有効性	☐	④公平性	☐	⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	マンホール蓋が外れたことが原因となる事故の発生や前年度に引き続き、施設の老朽化による木根等の侵入による管渠の閉塞事故等が多発している。		
課題解決のための取組	緊急での対応については、作業センター及び委託業者と連携を図りながら、修繕工事を実施した。	取組の結果	□解 決 ■未解決
未解決の課題	築造後50年を超える下水道施設や耐用年数が過ぎたマンホール蓋等の修繕・交換などの適正な維持管理、また、施設の長寿命化対策については、十分な対応が図られていない。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切○ 要改善△ (評価の視点を参照) 	①効率性	○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性	○		 A	課長等名
		③有効性	○			下水道河川課担当課長 藤木 修
		④公平性	○			

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
管渠維持管理費	主な個別事業	536 消耗品	140	140	○	○	○	○
		536 印刷製本費	30	26	○	○	○	○
		536 污水管渠等維持修繕料	20,000	4,024	○	○	○	○
		536 污水管渠建設等に伴う県道自費復旧事務費手数料	30	4	○	○	○	○
		536 污水管渠等浚渫及び緊急時調査等委託料	48,000	44,938	○	○	○	○
		536 市内各所マンホール蓋・受枠交換、路面復旧工事請負費等	11,000	9,660	○	○	○	○
		536 通気管取付工事等	610	0	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							